

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	府中子ども園	施設種別	認定こども園
評価機関名	一般社団法人京都社会福祉士会		

平成29年4月10日

総 評	<p>府中子ども園は、京都府北部の「天橋立」に近くに位置しており、海と山に囲まれた自然豊かな環境の中にあります。心と体を育てるために、豊かな自然を存分に取り入れた保育として、天橋立を歩いて渡るウォーキングやリズム遊び、運動遊び、体操教室に取り組んでいます。</p> <p>また、同法人の老人施設やグループホーム等との交流に加え、地区敬老会や文化祭等、地域の様々な行事や活動に参加することで、地域の中での園の役割について再認識し、地域に貢献できるよう努めています。全国的に少子化が進んでいる時代ですが、この地域では出生率が上がっており、定員数の見直しを宮津市と検討しています。今後、ハード・ソフト両面の見直しや改修が必要になってくると思いますが、行政と共に計画的に取り組んでいかれることを期待します。</p> <p>第三者評価受診に向けた取り組みとしては、前回の反省や評価結果をふまえ、自己評価を丁寧に行っていました。全職員の意見を積み上げて今回の評価に繋げています。</p> <p>今後もより一層、質の向上に向けた取り組みを行っていかれることを期待しています。</p>
特に良かった点(※)	<p>○保育の計画の作成</p> <p>「教育及び保育の内容に関する全体的な計画」については、職員間で検討しながら作成しています。また、保護者アンケートを実施した結果についても、そのままにせず、丁寧にまとめて保護者の意見などを反映させて保育の計画見直しを行っています。</p> <p>○中・長期計画の策定</p> <p>宮津市と出生状況や福祉サービスの情報交換を行い、地域の特徴や課題などを把握するよう努めています。把握した情報やデータを分析し、中・長期計画に反映させています。</p> <p>○地域との交流</p> <p>敬老会や文化祭などの地域行事に積極的に参加されています。園の取り組みとして子育てサポート事業である「ワクワク広場」を実施しており、様々な情報は園だよりの配布やホームページに掲載し、広く発信されています。</p>

特に改善が望まれる点(※)	<p>○職員への研修 職員一人ひとりの研修計画を作成していますが、それぞれの能力や評価に合ったものではありませんでした。今後は、法人の研修体系をふまえつつ、個人ごとの能力等に合わせた研修計画を立てていかれることを期待します。</p> <p>○保育環境について トイレや保育室など、更に保育環境の充実が求められる部分がありました。現在、トイレの改装工事を計画しているのですが、今後も計画的に設備の改修等を進めていただければと考えます。</p> <p>○研修の実施 食中毒の予防や事故防止に関するマニュアル等の作成や検討は行われていますが、職員に対する研修の実施が確認出来ませんでした。定期的に研修を企画し、実施するとともに、研修の記録を作成されることを期待します。</p>
---------------	---

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】

評価結果対比シート

受診施設名	府中子ども園
施設種別	認定こども園
評価機関名	一般社団法人京都社会福祉士会
訪問調査日	2017/2/2

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-1 (1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	a	a
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	a	a
	I-1-1 (2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	b	b
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	a	a
I-2 計画の策定	I-2-1 (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。	a	a
		I-2-1 (2) 保育の計画が適切に策定されている。	① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	a
	② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。		a	a
	③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。		a	a
	④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。		a	a
	⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。		a	a
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-1 (1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	a	a
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	a	a
	I-3-1 (2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	a	a
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	a	a

【自由記述欄】

I-1-1(1)①保育理念「一人ひとりの子ども達が集団の中で今を最もよく生き、望ましい未来を作りだす基礎を養う」をしおり等に記載し、各クラスに掲示しています。

I-1-1(1)②保育方針「心身の安定を図り、児童一人ひとりの発達を援助する」、保育目標「友達と楽しく遊べる子、心やさしい子、感情豊かな子」をしおり等に記載し、各クラスに掲示しています。

I-1-1(2)①職員の会議などで園長による説明を行っていますが、非常勤職員への説明や、十分な理解を促すための継続した取り組みはできていません。

I-1-1(2)②理念・方針・目標は毎年4月に配布し、クラス懇談会で保護者に説明する他、途中入園の場合にはしおりにて知らせています。地域に向けての周知活動としては、毎月の園だよりを府中地域全域の回覧板で回しています。クラス懇談会や個人懇談での説明確認、保護者総会での園長による説明と質疑応答で周知状況を確認しています。

I-2-1(1)①平成24年度に法人の児童プロジェクト会議で保育所部門の5か年計画を策定しています。更に、府中保育園でも平成26年度に中長期計画を策定し、平成28年度に見直しを行っています。

I-2-1(2)①計画の見直しは年に1回年度末に行っています。平成28年度は異年齢保育の強化やハロウィンなどの行事について見直しを行いました。年度末に保護者アンケートを実施し、その結果をまとめ、園から保護者にフィードバックしています。

I-2-1(2)②年間指導計画、月間指導計画、週間指導計画を作成しています。子どもが主体的に活動できる計画を作成しています。

I-2-1(2)③月間指導計画書を毎月作成し、月末には評価・反省・検討課題を記入し、次月の指導計画の見直しにつなげています。

I-2-1(2)④指導計画は、職員間で検討しながら保育に反映させています。見直しの一連の過程を全員で行うように改善しています。

I-2-1(2)⑤保育の指導計画は、毎月のクラスだよりの冒頭で「今月の目標」として利用者へ分かりやすく説明しています。

I-3-1(1)①園長の役割責任は分掌表に「総括、財務管理を担当」と記載しています。毎月の園だよりにより園長のメッセージを掲載しています。また半年に一度、職員全員にアンケートを実施し、年度目標の項目ごとに半期の達成状況の振り返りの意見を求め、まとめています。

I-3-1(1)②園長は民間社会福祉施設長研修会や保育協会管理者研修に参加しています。また、法令遵守リストファイルを作成しており、最近の法令遵守に関する具体的な取り組みとしては、パワーハラスメント・マタニティハラスメント等についての研修を行っています。

I-3-1(2)①半期に一度、正規職員（7名）を対象に面談を行っています。また、職員全員を対象としたアンケートを実施し、保育の質の改善に努めています。

I-3-1(2)②人事労務、財務の面から分析を行っています。法人の保育部門として、経営協の職員組織風土診断や京都福祉職場組織活性化プログラムでの組織診断を受け、職員一人ひとりの研修計画による資質向上等に取り組んでいます。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	a	a
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a	a
		II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	a	a
		① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a	a
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	a	b
	II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a	b
		① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	b	b
② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	a	a		
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	a	a
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	a	a
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	a
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	a	a

【自由記述欄】

II-1-(1)①府中地区の出生数が増加し、入園希望者が増加傾向のため、宮津市等と定員の調整を行っています。
 II-2-(1)①法人本部を中心に人事方針の策定、採用活動を行っています。宮津の新施設に向けて採用計画を立てています。
 II-2-(2)①有給休暇消化率や時間外労働等のデータ把握、パースデイ有給制度による計画取得などがあります。希望者には福利厚生センターのプログラムでカウンセリングを受ける体制が整っています。
 II-2-(2)②職員健康診断、福利厚生センターのプログラムがあります。職員の相談窓口として、法人本部の担当者を設置しています。
 II-2-(3)①法人の研修体系に「目指すべき職員像」を明示しています。
 II-2-(3)②法人の研修体系は職員階層ごとに研修課題を明確にしています。一人ひとりの研修計画を作成していますが、本人の能力や評価に基づいた研修計画になっていません。
 II-2-(3)③研修報告書の提出・職員への報告はしていますが、研修計画の評価分析を次年度計画に反映させる見直しは行っていません。
 II-2-(4)①実習受け入れマニュアルを作成していますが、実習生の受け入れに関する意義や目的を記載していません。また、実習指導者に対する研修は実施していませんでした。
 II-2-(4)②実習生、担任、実習担当職員と相談の上、実習計画表を作成しています。実習マニュアルで具体的なプログラムを確認できました。
 II-3-(1)①保護者の理解を得ながら、地域の敬老会や文化祭などに参加することで、子どもと地域のつながりを大切にしています。
 II-3-(1)②子育てサポート事業「わくわく広場」や回覧板を活用し、講演の開催などを地域に広報しています。
 II-3-(1)③ボランティアの受け入れに対するマニュアルを整備し、ボランティアの受け入れ担当も決めています。平成28年度は高校生のボランティアを受け入れています。
 II-3-(2)①「関係機関一覧表」を作成し、いつでも職員が確認できるようになっています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a	a
		② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a	a
	Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	a	a
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	a	a
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	a	a
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	a	a
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a	a
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	b	b
	Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a
② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。			a	a
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	b

【自由記述欄】

Ⅲ-1-(1)①「個人情報の取り扱いについて」の規程があり、新任研修や法人内研修で職員への周知、徹底しています。写真の掲載や連絡網作成については保護者に説明の上書面で同意を得ています。

Ⅲ-1-(2)①苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員会を設置し、玄関入り口に掲示しています。苦情内容や解決結果等をホームページに公表しています。

Ⅲ-1-(2)②「意見・要望対応マニュアル」に沿って、出された要望等については迅速な対応体制を整え対応しています。返答に時間を要する場合は、いつまでに返事ができるかを保護者に伝えています。

Ⅲ-2-(1)①今回の受診にあたっては職員全員で自己評価し、前回の評価を見直し改善に取り組んでいます。

Ⅲ-2-(1)②年2回人事考課制度を実施し、業務管理評価シートを用いて自己評価を行っています。面談を行う中で日々の業務の反省や改善を図っています。

Ⅲ-2-(2)①入園前の面接時に「発育状況調査票」を記入し、発育状況の確認、身体発達、生活状況、情緒面を把握しています。入園後は「家庭表」「児童表」を記入し生育歴、病歴、予防接種の確認を行っています。また、継続児についても毎年4月に「家庭表」を基にアセスメントを行っています。

Ⅲ-2-(2)②「記録に関する保管、保存、廃棄に関する規程」を定め、責任者を明確にし個人情報の管理と情報開示に対応しています。

Ⅲ-2-(2)③月1回の職員会議で情報共有に努めています。個別のケースについては、必要に応じて会議の中で話し合う場を設けていますが、十分ではありません。

Ⅲ-3-(1)①法人のホームページ、パワーポイント、パンフレットなどで取り組みを広く発信し、わかりやすく紹介しています。

Ⅲ-3-(1)②子ども園のしおりに基づき、利用できるサービスについて入園前に契約書で説明し書面で同意を得ています。

Ⅲ-3-(2)①保育を終了する際に希望する保護者に対して相談方法や担当者の説明は行っていますが、文書で渡すことが出来ませんでした。

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	a	a
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	b	a
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	a	a
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	a	a
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	a	a
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	a	a
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	a	a
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	a	a
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	b	b
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	b	b
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	a	a
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	a	a
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	b	b
		④ 身近な自然や社会とかがわられるような取り組みがなされている	a	a
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	a	a
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	a	a
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	b	b
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	a	a
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	a	a
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	a	a
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	b	b

【自由記述欄】

IV-1-(1)①「健康管理マニュアル」に基づき、子どもの健康管理を行っています。毎日の健康状態については、申し送りに記入し全職員に周知しています。

IV-1-(1)②現在は、囑託医を交えて会議を開く対象の子どもは在園しておらず、専門的な意見交換の場はありませんが、体制は整っています。

IV-1-(1)③年1回は歯科医師による歯科検診を実施し、結果は書面で保護者に伝えていきます。歯科検診とは別に年1回歯科衛生士によるブラッシング指導があり、正しい歯磨きの仕方を指導しています。

IV-1-(1)④「感染症マニュアル」があり、職員会議で全職員に周知しています。市からの感染症情報の通達や園内で感染症が発生した場合は職員に周知し、園の入り口付近に掲示し保護者へも情報提供しています。

IV-1-(1)⑤食事の際にはBGMを流し雰囲気づくりに努めています。園児が育てた野菜を食べる食育にも力を入れており、園児が調理場をみられる環境になっています。また、当番活動を通じて調理職員と子どもが交流しています。

IV-1-(1)⑥毎日のおやつは手作りで、子どもの体調に合わせてメニューを変更するなど柔軟に対応しています。

IV-1-(1)⑦食事のサンプルは毎日掲示しています。給食便り、献立表を毎月配布し食事の重要性を保護者に伝えていきます。

IV-1-(1)⑧「アレルギー対応マニュアル」に沿って対応し、アレルギーのある子どもには代替食で対応しています。

IV-1-(2)①トイレは和式で段差があり老朽化が進んでいる為、改装工事を計画しています。遊具の点検は月1回行っていますが、砂場の消毒が出来ていません。

IV-1-(2)②部屋数が少ないため、与えられた環境の中でカラーマットを部屋の隅に置くなどして工夫していますが、子どもが眠くなった時に安心して眠ることが出来るスペースが確保できていません。

IV-1-(3)①子どもの登園時には笑顔で迎え、泣いてしまう子どもには子どもの気持ちに寄り添いながら対応しています。

IV-1-(3)②園でのデイリープログラムにトイレや午睡といった1日の流れのマニュアルがありますが、子どもたち一人ひとりのリズムに合わせて強制したりせずに援助を行っています。

IV-1-(3)③遊戯室では、各遊びのコーナーがあり、園児が自発性を発揮できるようにしています。子どもが自由に素材や用具など自分で取り出して遊べる工夫が出来ていないため、今後の検討課題とのことです。

IV-1-(3)④指導計画の中に自然の石や木などと触れ合う機会を持つを記載し実践しています。毎年、天橋立ウオーキングと銘打ち自然に触れる機会を持つよう計画しています。また、ハロウィンパレードでは地域を仮装して歩き、地域住民から好評を得ています。

IV-1-(3)⑤各教室の前に園児の作品を飾り、送迎時に保護者等が見ることが出来るようにしています。日々の保育の中で子どもが身体を使った表現遊び、絵本の読み聞かせや紙芝居なども積極的に取り入れています。

IV-1-(3)⑥普段の保育や延長保育、土曜保育では異年齢交流が出来るよう工夫し、年長児と年少児がお互いの成長に影響しあえる関係になっています。

IV-1-(3)⑦職員は、子どもへの暴力防止研修や人権擁護研修、同和研修などに参加し、報告書を通して全職員で共有していますが、子どもの人権や文化の違いなどについて、保護者に理解してもらうような具体的な取り組みが出来ていません。

IV-1-(3)⑧男女という分け方ではなく、個々の子どもたちを尊重して保育実践しています。点呼の時も男女バラバラで誕生日順に名前を呼ぶなど工夫しています。

IV-1-(3)⑨「健康管理マニュアル」を基にお昼の会議で勉強会を開催し、職員がSIDSに関する必要な知識を学んでいます。また、15分おきに子どもの寝息、顔色等をチェックし、SIDS予防チェック表に記録しています。

IV-1-(3)⑩子どもの様子については、申し送りで引き継ぎを行い、送迎時や連絡ノートで保護者に伝えていきます。長時間保育を利用する子どものために床暖房など環境への配慮や年齢に合わせて軽食を用意しています。

IV-1-(3)⑪今年度は対象者はいませんが、障害児保育に関する研修参加や計画作成を行っています。建物、設備のバリアフリーは施設の構造上困難な状況です。

IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	a	a
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	a	a
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	a	a
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	a	a
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	a	a
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	a	a
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	a	a

【自由記述欄】

IV-2-(1)①保護者とは、送迎時や連絡ノートで日常的な情報交換を行っています。また、個別面談や懇談会を実施し子育て相談等、保護者に対する子育て支援を行っています。面談後は相談内容を記録に残し、必要に応じ全職員に会議等で伝達しています。

IV-2-(1)②個別の行動記録があり、家庭の状況や情報を交換しています。年齢に応じた書式を作成し、乳児はより細かく記入するなど配慮しています。

IV-2-(1)③クラス懇談会を年1回開催しています。保育参加としては、給食試食会や保護者参観、おやつ試食会、祖父母参観等を実施し、育児の方法や対応について保護者と共通理解を得るための機会にしています。

IV-2-(1)④「児童虐待マニュアル」を作成し全職員への研修で虐待対応でのモニタリングのポイント等を伝えています。要保護児童については、宮津市要保護児童対策地域協議会の会議に参加し、関係機関と連携を図っています。

IV-2-(1)⑤虐待が疑われる児童を発見した場合は、速やかに関係機関に照会、通告することが出来るよう「児童虐待対応マニュアル」に必要な関係機関の連絡先を明示しています。

IV-2-(1)⑥就学指導会議を定期的に開催し、小学校と情報交換をしています。子どもの記録は、日々の観察記録、月間のまとめ、年間のを残して、子どもの発達状況、保育目標や生活状況などを記載し書式も統一しています。また、書式については毎年見直しを行い、より良くするための検討を行っています。

IV-2-(2)①一時保育については、最初に個人面談を行い事業内容の説明をした上で利用開始しています。一時保育児の年齢に合わせたクラスで過ごす等、通常保育の子ともと交流できるよう配慮しています。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	a	a
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	a	b
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	a	b
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	a	a
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	a	a

【自由記述欄】

IV-3-(1)①園長のリーダーシップによる管理体制のもと、子どもの安全確保に関する担当者は衛生管理係とリスクマネジメント係が担っています。衛生管理の取り組みは、「調理室における衛生管理マニュアル」を作成し、職員会議等で職員に周知しています。

IV-3-(1)②「調理室における衛生管理マニュアル」の中に「食中毒を予防するために」があり、平成28年4月に見直しを行っていますが、職員に対する研修の実施を確認出来ませんでした。

IV-3-(1)③ヒヤリハット報告書や事故発生報告書を作成しています。職員会議などで発生要因を分析し、未然防止策を検討していますが、職員に対する研修の実施を確認出来ませんでした。

IV-3-(1)④「事故・災害発生時対応マニュアル」があり、保護者を交えた交通安全教室を年2回開催しています。他にも避難訓練や防犯訓練、地震訓練、津波訓練を実施し、災害時における対応を確認しています。

IV-3-(1)⑤「不審者侵入への対応マニュアル」があり、警察と連携のもと職員と子どもたちが参加して防犯訓練を実施しています。万が一に備えて、緊急連絡先の一覧表、保護者への連絡網を作成しています。